

人権問題を解決するために

自分が高齢者になったとき

(90分)

【対象者】

高校生、保護者や成人一般
20人～40人程度

【関連する視点・課題】

高齢者の人権

ねらい

グループでの意思決定を行うプロセスを通して、他者の意見を聞いたり、自分の意見を述べたりして、高齢者にとっての人権や生き甲斐、価値観等について考えを深めていきます。そして、現在進みつつある高齢社会の中で、自分の生き方や、社会の在り方について考えるようにします。

準備

- ワークシート ○セロテープ
- グループ発表用の模造紙・カード（グループ数）
- 高齢者のための国連原則（決議文）

アクティビティの実際

導入
(10分)

アイスブレイキング

- ※「背中的人物」を実施する。
(14ページ参照)

展開
(60分)

「自分が高齢者になったの願いを考えよう」

- 1 高齢者に対するイメージを確認します。

説明1

今日は、高齢者の人権問題について考えていきます。まず、皆さんが高齢者に対し、あるいは高齢者という言葉に対し、どんなイメージをもっているのか、確認したいと思います。自由に、発表してください。

<自由に、何人か発表させる>

高齢者というと、体が不自由だとか、病気がちだとか、マイナスイメージで見える方が多いと思います。でも、65才を過ぎても、とても元気な方がたくさんいます。75才以上の後期高齢者といわれる方も同じです。ですから、高齢者というイメージを固定しないで、いろいろな方がいると考えて、これからのアクティビティを行ってください。

2 各自でワークシートのランキングを行います。

説明 2

ワークシートを見てください。
そこに、高齢者が生活していく上で大切と考えられる事柄「高齢者の願い」が、9枚のカードに書いてあります。
この9枚のカードを、自分にとって大切であると思う順番にランキングし、ワークシートの四角の中に記号（アルファベット）を書き込んでください。
それでは、10分間をお願いします。

3 グループ内で、自分のランキングを発表します。

説明 3

では、グループ内で、それぞれ個人で考えたランキングを全員が発表してください。このときに、自分がどうしてこのようなランキングにしたかの理由も言ってください。
グループ内での発表時間は、一人3分間とします。では、始めてください。

4 グループでランキングを行います。

説明 4

これから、グループごとにランキングをしてもらいます。今、それぞれが発表したランキングをもとに、グループ内で話し合い、グループとしてのランキングを、模造紙につくってください。アルファベットのカードがつくってありますから、それを模造紙の上にダイヤモンド型に並べてください。その時最も重要なものは一番上に、あまり重要でないものは一番下になるように並べてください。お互いに、安易な妥協はせず、自分の意見を主張しながら話し合いを進めてください。時間は20分とします。

5 グループのランキングを発表する。

説明 5

グループの発表にうつります。グループでつくったランキングの模造紙を、皆さんに見えるように掲示して、説明してもらいます。発表は、代表の人をお願いします。発表するときに、なぜこのランキングになったかを説明してください。また、話し合いの中で、意見が一致した点、意見が分かれた点などについても、説明してください。
1グループ、5分程度をお願いします。

6 感想を発表します。

説明 6

グループの発表が終わりました。
それでは、何人かの人に感想を発表してもらいます。各グループの発表を聞いた感想でも、それぞれのグループ内での話し合いの感想でも結構です。では、・・・さん、どうぞ。

7 「高齢者のための国連原則」を各自が読みます。

説明7

では、資料としてお配りした、「高齢者のための国連原則」というプリントをご覧ください。これは、高齢者の人権を守るために国連で採択されたものです。高齢者と一口に言っても、様々な立場の人がいます。しかし、だれにとっても大切な事柄が書かれています。皆さんが考えたランキングと関連させながら読んでみましょう。

ふ り 返 り
(20分)

ふり返り

1 「ダイヤモンドランキング」のアクティビティから、思ったり考えたりしたことを、話し合います。

例1) アクティビティから、どんなことを思いましたか？

例2) 「高齢者のための国連原則」を読んで、自分が考えていた高齢者のために大切なことと違いがありますか。

例3) 私たちの周りを見たとき、高齢者の人権は守られ、高齢者にとって暮らしやすい社会となっているでしょうか。

2 ふり返りカードを使って、本日の学習で気づいたこと、これから実践しようと思ったことを各自が記入し、発表します。

ポ イ ン ト



○高齢者にとっての願いとは、すべての人々が生活していく上でも大切なことであり、今の自分の願いと関連づけながら考えていくことが大切です。その際、自分の願いのランキングと重なっていく部分がでてくることもあるでしょう。

○「高齢者のための国連原則」は、1991年に国連で採択されました。この中の5原則（自立・参加・ケア・自己実現・尊厳）は、全ての人々が生きていく上でも尊重されなくてはならないものと言えます。

【応用・発展のために】

○このアクティビティを、高齢者による講演や、高齢者擬似体験セット等を使った体験学習と組み合わせると、さらに効果的です。

「自分が高齢者になったとき」ワークシート

◇ この9つの願いを自分にとって大切であると思う順番に選んでください。

A 仕事（収入手段）をいつまでも続けたい。

B いつまでも自分の家族といっしょに暮らしたい。

C 病気になったら、最良の治療を受けたい。

D 社会の一員として、地域社会の役に立ちたい。

E いつまでも学び続けたい。

F 自分の尊厳を守り、周囲から大切にされたい。

G 身体に障害をもつようになったら、周囲の援助が欲しい。

H 安全に住める場所を確保したい。

I 犯罪に巻き込まれないための話し相手が常に欲しい。

【ダイヤモンドランキング】

	1			
	2		2	
3		3		3
	4		4	
		5		

(自立：Independence)

高齢者は

- ・収入や家族・共同体の支援及び自助努力を通じて十分な食料、水、住居、衣服、医療へのアクセスを得るべきである。
- ・仕事、あるいは他の収入手段を得る機会を有するべきである。
- ・退職時期の決定への参加が可能であるべきである。
- ・適切な教育や職業訓練に参加する機会が与えられるべきである。
- ・安全な環境に住むことができるべきである。
- ・可能な限り長く自宅に住むことができるべきである。

(参加：Participation)

高齢者は

- ・社会の一員として、自己に直接影響を及ぼすような政策の決定に積極的に参加し、若年世代と自己の経験と知識を分かち合うべきである。
- ・自己の趣味と能力に合致したボランティアとして共同体へ奉仕する機会を求めることができるべきである。
- ・高齢者の集会や運動を組織することができるべきである。

(ケア：Care)

高齢者は

- ・家族及び共同体の介護と保護を享受できるべきである。
- ・発病を防止あるいは延期し、肉体・精神の最適な状態でいられるための医療を受ける機会が与えられるべきである。
- ・自主性、保護及び介護を発展させるための社会的及び法律的サービスへのアクセスを得るべきである。
- ・思いやりがあり、かつ、安全な環境で、保護、リハビリテーション、社会的及び精神的刺激を得られる施設を利用することができるべきである。
- ・いかなる場所に住み、あるいはいかなる状態であろうとも、自己の尊厳、信念、要求、プライバシー及び、自己の介護と生活の質を決定する権利に対する尊重を含む基本的人権や自由を享受することができるべきである。

(自己実現：Self-fulfillment)

高齢者は

- ・自己の可能性を発展させる機会を追求できるべきである。
- ・社会の教育的・文化的・精神的・娯乐的資源を利用することができるべきである。

(尊厳：Dignity)

高齢者は

- ・尊厳及び保障をもって、肉体的・精神的虐待から解放された生活を送ることができるべきである。
- ・年齢、性別、人種、民族的背景、障害等に関わらず公平に扱われ、自己の経済的貢献に関わらず尊重されるべきである。

<ふり返りカード>

◇ 「自分が高齢者になったとき」を学習して気づいたことを書きましょう。

◇ 今後、どんなことを実践しようと思いましたか。